

安全性データシート

改定日: 2022年3月7日

前作成日: 2015年10月14日

SDS番号: 188-19

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別**1.1. 製品識別**

622 ホワイト・グリース

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

ポリテトラフルオロエチレン(PTFE)を添加した純鉱油グリース。プロセスおよびパッケージ業界用。
飲食物、製薬、繊維、その他清潔な材料やパッケージのプロセスプラントのスライド、ガイド、可動部品装置を潤滑する高品質、クリーンな多目的グリース。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報**会社:**

A.W. CHESTERTON COMPANY
860 Salem Street
Groveland, MA 01834-1507, USA
電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785
(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)
SDSの要求: www.chesterton.com
Eメール (SDSに関する質問): ProductSDSs@chesterton.com
Eメール: customer.service@chesterton.com

供給元:

株式会社 明治屋
神奈川県横浜市中区尾上町5丁目76番地
TEL 045-681-2741 FAX 045-681-2731
Eメール: contact-ches@meidi-ya.com

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休
Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約**2.1. 物質または混合物の分類****2.1.1. GHSによる分類**

GHSによれば、本製品はいずれの危険物クラスにおいても分類基準を満たしていません。

2.1.2. 追加情報

なし

2.2. ラベル項目**GHSによるラベル付け**

危険の絵表示: なし

信号語: なし

危険有害性情報: なし

使用上の注意: なし

補足情報: なし

2.3. その他の危険性

工業的用途ではなし。常温では無毒です。260°C以上に加熱するとパーフルオロカーボン樹脂は蒸気を発生し、これを吸引するとインフルエンザのような症状を一時的に起こすことがあります。熱分解すると炭素、フッ素、酸素を含有する酸化物を生成します。
ACGIH(米国産業衛生専門家会議)は本製品の有毒性の調査中で、許容限界を規定していませんが、濃縮空気は最低限に抑えてください。

セクション 3: 組成、成分情報**3.2. 混合物**

危険成分 ¹	重量%	CAS番号	GHS分類
なし			

¹分類基準: 労働安全衛生法, 毒物および劇物取締法, GHS

セクション 4: 応急処置**4.1. 応急処置情報**

吸入: 適応せず

皮膚への付着: 石鹼水で皮膚を洗浄してください。炎症が生じた場合は、医師の診断を受けてください。

目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。135

呑み込んだ場合: 無理に吐かせないでください。医師の診断を受けてください。

応急手当を行う人の保護: 予防策は特になし。

4.2. 最も重要な徴候と影響(急性および遅延)

なし

4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候

症状の手当てをしてください。

セクション 5: 火災時の処置**5.1. 消火剤**

適切な消火剤: 水霧、発泡、乾燥薬品、二酸化炭素

不適切消火剤: ウォータージェット

5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性

有害な燃焼生成物: 熱分解すると一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙を発生することがあります。

その他の危険性: 既知の影響なし

5.3. 消防の際のアドバイス

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

セクション 6: 漏出時の処置**6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

6.2. 環境に対する注意

下水、河川、水路に流さないでください。

6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料

廃棄用容器に回収してください。

6.4. 他のセクションの参照

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

セクション 7: 取扱い及び保管上の注意**7.1. 安全な取扱いのための注意**

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。使用中の喫煙は避けてください。

7.2. 安全な保管のための条件（配合禁忌を含む）

密閉容器に入れ、熱や湿気のない所に保管してください。発火源や燃焼物に近づけない事。

7.3. 具体的な最終用途

予防策は特になし。

セクション 8: 暴露防止及び保護措置**8.1. 管理パラメーター**

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m ³	ppm	mg/m ³
なし				

生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

8.2. 曝露制限**8.2.1. 設備対策**

条件は特になし。

8.2.2. 作業員の保護対策

呼吸器系の保護: 通常不必要。

手袋: 必要ならオイルを浸透しない手袋。

目 / 顔の保護: 安全メガネ

その他: なし

8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

セクション 9: 物理的及び化学的性質

9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	グリース	pH	適応せず
色	白	動粘	100 cSt @ 40° C
臭気	かすかな臭気	水溶性	不溶性
においの閾値	未定	分配係数:n-オクタノール/水	適応せず
沸点、初留点及び沸騰範囲	未定	20°Cでの蒸気圧	未定
融点・凝固点	未定	相対密度	0.91 kg/l
揮発率%(容量比)	ごくわずか	蒸気密度(空気=1)	未定
引火性	未定	蒸発率(エーテル=1)	< 1
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	適応せず	重量比芳香物含有率(%)	未定
引火点	250° C	爆発性	なし
方法	-	酸化性	なし
自己発火温度	270° C	粒子特性	適応せず
分解温度	データなし		

9.2. その他の情報

なし

セクション 10: 安定性及び反応性

10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

10.2. 化学的安定性

通常の状態では安定。

10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

10.4. 避けるべき条件

なし

10.5. 配合禁忌薬品

強力酸化剤。

10.6. 危険な分解物

熱分解すると一酸化炭素、二酸化炭素、その他の有毒煙を発生することがあります。

セクション 11: 有害性情報

11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路: 皮膚への付着

急性毒性 -

経口: 致死量50(LD50) LD50, マウス: 2,401.92 g/kg, 推定。

経皮: 有害を起こさないとされています。

吸入: 有害を起こさないとされています。

皮膚腐食性/刺激性: 情報なし

眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性: 情報なし

呼吸器または皮膚の感作: 情報なし

胚細胞突然変異原性:	情報なし
がん原性:	本製品は、国際がん研究機関(IARC)あるいは欧州化学機関(ECHA)の規定する発がん性物質を含有していません。
生殖毒性:	情報なし
STOT - 単回暴露:	情報なし
STOT - 反復暴露:	情報なし
吸引性呼吸器有害性:	入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。
その他の情報:	既知の影響なし

セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

12.1. 毒性

情報なし

12.2. 持続性・分解性

オイル製品は誤って環境に放出されると土地や水の汚染の原因となることがあります。

12.3. 生物蓄積の可能性

生体内蓄積の可能性低。

12.4. 土壌中の移動性

土壌内の移動性が低いとされています。

12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

セクション 13: 廃棄上の注意**13.1. 廃棄処理方法**

吸収物を正式に認可された設備で焼却、埋立て処理してください。
地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

セクション 14: 輸送上の注意**14.1. UN番号**

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

14.5. 環境への危険性

適応せず

14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

14.8. その他の情報

適応せず

セクション 15: 適用法令

15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
--------	---------------	----------------

その他の国内規制: なし

セクション 16: その他の情報

略語一覧: ACGIH:米国産業衛生専門家会議
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定
 ATE:急性毒性推定値
 BCF: 生物濃縮係数
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値
 GHS:世界調和システム
 ICAO:国際民間航空機関
 IMDG:国際海上危険物規定
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量
 LOEL:最小作用量
 NOEC:最大無作用濃度
 NOEL:最大無作用量
 N/A:該当せず
 PEL:許容暴露限度
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定
 SDS:安全性データシート
 STEL:短時間暴露許容濃度
 STOT: 特定標的臓器毒性
 TLV:暴露限界
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。

主な参考文献およびデータ出典: 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク(TOXNET)
 化学分類および情報データベース(CCID)

GHSによる混合物の分類方法:

適応せず

関連するH(危険)-ステートメント: なし

その他の情報: なし

本改訂によるSDSの変更: 新配合を示すために変更を全て記入してください。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。
 使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。